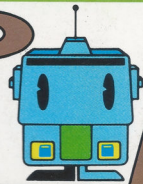


ウルトラ64は100MHzの超高速だった!

平成7年6月16日発行(隔週金曜日発行)第11巻第10号(通巻225号)
昭和62年9月7日第3種郵便物認可
ファミリーコンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。

ファミコンピピ



490
YEN

Magazine

1995
no.

12
6月16日号

●5大RPG最新情報

競
走
続
報

聖剣伝説3 / イースV
ダンクエスト / ミスティックアーク
バウンティ・ソード

●たっぷり12大新作情報

リトルマスター 虹色の魔石

大物ブラックバスフィッシング

西陣パチンコ物語 / トランプアイランド

スーパー・スターウォーズ ジェダイの復讐

夜光虫 / ガメラ / Mr. Do ほか

●ストレス知らずの明快ガイド

3大
攻略

エルファリアII
スヌーピー
コンサート
シムシティ2000

●ハード、ソフトともに完全公開!

別36
冊付
録

3Dバーチャルボーイ
MAGAZINE

飛び出す!

任天堂ブースで発見!! SFCの注目作2本

最後は任天堂ブースのレポート。ここではSFC（アメリカではS・N・E・S）の世界初公開作2本という収穫があった。下を左ページでヒシッと紹介しちゃおう。その他には「アース バウンド」「マザー2」のアメリカ名、GBの「キラースティンクト」「ストーリーファイターII」なども出展されていた。またGBの新しいラインナップとして過去のアーケードゲーム2本を1つのカセットに収めた「アーケードクラシックス



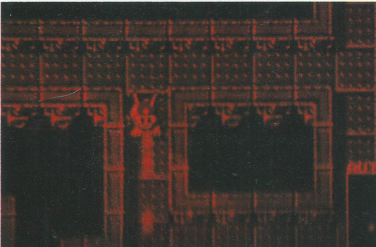
○「キラ〜」のために作られた舞台で踊りまくるオナーサマたち

VBもアメリカデビュー

バーチャルボーイ（アメリカでも呼び名は同じ）の発売は8月14日、価格はソフト1本が同梱されて約180ドル。前出のレート（1ドル＝84円）で換算すると、約1万4300円ということ、これも日本人の感覚からすれば安く思える。任天堂ブースには日本でも発表済みのタイトルが数本展示されていたが、アトラスのブースで日本では未公開のゲームを発見できたぞ。



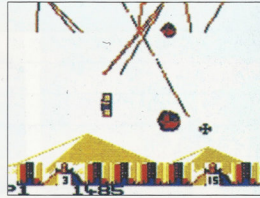
○バーチャルボーイを観き込む人々。アメリカでは売れるカナ?



○「女神転生シリーズに出てくるジャックフロスト」が主人公の「デビルバスター」。アトラスのブースにあったものを撮影



○「キラースティンクト」さす。がにGBでは限界でもんが...



○「アステロイド/ミサイルコマン」画面は「ミサイル〜」のほう

ツインワン



○必殺技もキッチリ移植。ちなみに、容量は32メガ。やっぱりって感じ



○キャラクタ選択画面。シヨウでは対人戦のみ遊べる状態だった

ウルトラ64の格闘ゲームをなんとSFCに移植。スーパードンキーコングと同じモアレックや背景は、かなりリアル高し。操作できるキャラクタは全部で10体。ほとんどが人間離れしたヤツばかりだ。8月発売予定ということで、ブース内で最も気合の入った展示をしていた。

ウルトラ64（アーケード）より、意表を突く移植

キラースティンクト



○勝利デモにはこんなグラフィックが用意されている。やるねエー

しかし、この「キラ〜」日本での発売は予定していないとのこと。ちよつと残念...

「64級の絵をトクと見よ!!」

